

経済透視図

123

ARグラス市場動向 ①

なぜなら、これらの受容性にも乏しいデバイスでは重量が大きめ、日常的な装着が困難に不適とされ、難だからである。また、装着後の外た、VRグラスの利用人も少なくなく、社会 明確になつておらず、

子どもの着用や長時間利用の是非についても調査が必要である。この理由から、既存のHMDはあくまで特 定用途でしか利用され ない。また、装着後の外た、VRグラスの利用人も少なくなく、社会 明確になつておらず、

子どもに着用や長時間利用の是非についても調査が必要である。この理由から、既存のHMDはあくまで特 定用途でしか利用され ない。また、装着後の外た、VRグラスの利用人も少なくなく、社会 明確になつておらず、

グラス型、安全性問題に

AR(拡張現実)が部分を覆うような外見をしようとしている。業務用途として、ARは仮想現実(VR)空 間上に製品の構造を映 示し、現実世界にある 物体に重ねる機能を用 いたりするなど多岐 有するものだ。

これまでの頭部に装 着する実用的なウェアラブルデバイス(ヘルメ ット)は非グラ 用用途が限定されてい た。



SMBC日興証券
プライベート・
キャピタル・
ソリューション室長
窪田 正吾

に米グーグルが「グー ー」を開発し、Metaは外見上は 一般的にサンングラス 目指したが、当時はグ ー、周囲から見ると違和 ーの着用によって歩 行や運転時の事故につ 0ドル以下(12月9日 なるという安全性の 時点)で、ハイエンド するため操作も容易なこ (隔週水曜日に掲載)

無断転載・複写禁止